

みなさん、改めて大ニュースです！ 🎉

取引先のFindy社で労務チームが『チーム賞』を受賞しました！

先日、取引先である Findy株式会社 の全社会議において、労務担当チームが「チーム賞」を受賞されました！ 🏆

今回の受賞には、当社の 在宅勤務スタッフ2名 も関わっています。

普段と同じようにクライアント企業の労務を支えてきた取り組みが評価されたのです。

だからこそ今回は、その業務を担っていた在宅勤務スタッフ2名にインタビューをさせて頂き、どのように感じ、どんな工夫をしてきたのかをご紹介します ✨



🚀 Findyってどんな会社？

今回「チーム賞」を受賞されたのは、当社の大切なお取引先 Findy株式会社 の労務担当チームです ✨

2016年の設立以来、着実に成長を続け、現在は 登録エンジニア数約20万人、導入企業2,700社超、社員数約450名 と急成長を遂げています。

Findy社の掲げるミッションは

「つくる人がもっとかがやけば、世界はきっと豊かになる。」

エンジニアの挑戦や多様な働き方を支援し、社会に新しい可能性を広げています 💡

表彰されたFindy労務チームを サポートしていた 在宅スタッフのAさんと Bさんにインタビューしました！ 🎤 ✨

Aさん

Q. 今回の「チーム賞」受賞を聞いたときの感想は？



受賞の知らせを聞いたときは、とても励みになりました。普段は目の前の業務を淡々と進めることが多いのですが、その積み重ねがきちんと評価されたのだと感じました。これからも業務の安定を第一に、さらに改善を重ねていきたいです。

Q. Findy社の労務業務に携わる中での学びや気づきは？



Findy社は上場を見据えており、給与計算ひとつを取っても「月初5営業日以内に確定」といった高い基準があります。その姿勢に触れ、正確性だけでなくスピード感を持つ重要性に気づきました。そこから、自分自身も効率的に仕事を進める工夫を意識するようになり、大きな学びとなりました。

Q. 業務で工夫したことや印象に残っていることは？



特に印象に残っているのは「随時改定」の業務です。システムだけでは判定できない部分があったので、Excelで抽出ツールを自作しました。最初は難しく感じましたが、社内にあったノウハウを参考に短期間で形にでき、正確性とスピードの両方を高めることができました。こうした工夫を通じて、自分なりに改善していく意識が強まったと思います。

Bさん

Q. 今回の「チーム賞」受賞を聞いたときの感想は？



Findy社の労務ご担当の皆さんはとても柔軟で前向きな方ばかりなので、「やっぱり！」と納得しました。日ごろから一緒に改善を進めてきた姿勢が評価されたのだと思うと、自分のことのように嬉しかったです。

Q. Findy社の労務チームや担当者と一緒に働いて感じることは？



Findy社のご担当者は提案にも快く応じてくださいます。例えばExcelのフォーマットを自分なりに改善した際も「ぜひやりましょう」と言っていただけで、一緒に業務を良くしていけるのが大きなやりがいになっています。

Q. 在宅勤務で意識している工夫は？



Slack中心のやり取りなので、誤解を避けるために「これはこういう意味ですか？」と必ず確認するようにしています。また、情報が流れやすいので、共有スプレッドシートで進捗が見える化するなど、安心して仕事を進められる工夫をしています。

 最後に

今回の表彰はFindy社の出来事ですが、一員として労務を支えているからこそその成果だと感じました ✨

給与計算や社保手続き、Slackでの丁寧な確認など、社労士のプロとしての姿勢に学びがありました。

特にAさんとBさんがExcel改善など工夫を重ねていたのが印象的で、その努力が「チーム賞」として評価されたことは大きな刺激です 🍊

これを読んでいる社内の皆さんにとっても活気や、やる気につながればうれしいです。

加藤美咲